



令和
7年度

日中活動支援部会 全国大会 北陸地区 新潟大会



「本人の希望に応えるための支援とは」

～個人の意思の尊重が当たり前となる未来に向けて～

昨年度の報酬改定では、各種加算や時間単位の報酬設定など、生活介護事業所には大きな変革であり、あらためて支援のあり方を考える機会となりました。合わせて障害者権利条約の批准国である我が国に対する対日審査総括所見(2022年9月)は、まさに意思決定支援の在り方を問うています。そして、各事業所においては「意思決定支援ガイドライン」を基に「本人の意思を中心に置いた支援」を具体的に実施することが求められています。

当部会では、2019年の北海道大会で「社会参加の機会の保障」に着目し、これ以降の大会では「社会参加の推進」を行うことが日中活動支援事業所の主たる使命とし、研鑽を重ねてきました。更に今日では、事業所内外の活動だけでなく「本人が望む暮らしの実現」に向けて、居住支援との連携についても重視しています。

それらはまさに「社会への完全かつ効果的な参加」や「障害者の人権及び基本的自由の享有を確保し、障害者の固有の尊厳の尊重を促進する」ことを目的とした障害者権利条約の批准の流れに沿うものでもあります。

今回の大会では、あらためて障害者権利条約批准に伴い、当事者が求める支援と、その「支援の質」をどのように私たちは向上させていくべきか、考える機会としたいと思います。

日程	令和7年12月4日(木)～5日(金)	
会場	ANAクラウンプラザホテル新潟 〒950-8531 新潟県新潟市中央区万代5-11-20	
定員	400名	
参加費	会員施設 18,000円 一般その他 23,000円 懇親会 11,000円	申込締切 令和7年10月31日(金)
申込サイト	http://www.mwt-mice.com/events/shien2025niigata	
参加申込窓口	名鉄観光サービス株式会社 新潟支店 担当：清水・土屋 TEL 025-245-8331 FAX 025-245-8333	



【主催】 公益財団法人日本知的障害者福祉協会 日中活動支援部会
北陸地区知的障害者福祉協会 新潟県知的障害者福祉協会

【後援】 (予定)
新潟県／新潟市／社会福祉法人新潟県社会福祉協議会／一般社団法人新潟県手をつなぐ育成会

1日目(12月4日)

全体会 ANAクラウンプラザホテル 飛翔(3F)

- 12:00 受付
- 13:00 開会式
- 13:25 特別報告 「能登震災からの報告」
報告者：社会福祉法人佛子園 輪島カブーレ 施設長 寺田 誠 氏（石川県）
- 14:25 基調講演 「意思決定支援のありかた」
講師：日本福祉大学福祉経営学部 医療・福祉マネジメント学科 教授
社会福祉法人 睦月会 理事長 綿 祐二 氏
- 15:35 パネルディスカッション 「本人の希望に応えるための支援とは？
～意思決定支援の現状とこれから～」
進行：日本知的障害者福祉協会日中活動支援部会
部会長 森下 浩明 氏（神奈川県）
助言者：日本福祉大学福祉経営学部 医療・福祉マネジメント学科 教授
社会福祉法人 睦月会 理事長 綿 祐二 氏
実践報告「相談支援専門員だからこそできる意思決定支援
～かなざわ安心プランをとおして～」
報告者：社会福祉法人金沢手をつなぐ親の会 相談支援事業所きずな
施設長 松沢 信行 氏（石川県）
実践報告「医療的ケアを必要とする利用者さんの意思決定支援について」
報告者：日本知的障害者福祉協会日中活動支援部会東海地区代表委員
社会福祉法人福浜会 あにまあと 施設長 三室 龍一 氏（静岡県）
- 16:50 閉会式
- 18:30 交流会 (ANAクラウンプラザホテル3F 飛翔)

2日目(12月5日)

分科会 ANAクラウンプラザホテル 飛翔(3F)

- 9:00 受付 分科会会場毎に受付
- 9:30 開始
- ・第1分科会 「意思決定支援を中心に置いた個別支援計画とその実施」
会場 飛翔A
 - ・第2分科会 「高齢化に伴う活動の変化と居住支援との連携」
会場 飛翔B
 - ・第3分科会 「自閉スペクトラム症の人の意思決定と社会参加への支援
について」
会場 飛翔C
- ※分科会会場は、初日の全体会会場と同会場です。会場を3分割し、実施いたします。
- 12:00 終了

※諸事情によりプログラム、登壇者等を変更する場合があります。

第1分科会

意思決定支援を中心に置いた個別支援計画とその実施

昨年度の報酬改定において、利用者の意思決定支援を推進するための方策として、個別支援計画を作成する際に「利用者の自己決定の尊重及び意思決定の支援に配慮しつつ、利用者が自立した日常生活を営むことができるように支援する上での検討をしなければならない」と示されています。現在私たちが提供している支援は、「意思決定支援に基づいた個別支援計画」として、利用者の自己選択や自己決定に配慮し、それらが反映されたものでしょうか。意思形成や意思表出の難しい利用者に対して、どのようにその意思を汲み取り、理解を深めて行くのか、実践報告を通して考え学ぶ機会とします。

また、事業所が果たす役割として「社会参加の推進」の実現を重視してきましたが、その充実度をどのように個別に評価して行くかについても考える機会とします。

内 容

パネルディスカッション

コーディネーター：日本知的障害者福祉協会日中活動支援部会 部会長 森下 浩明 氏（神奈川県）

進 行：社会福祉法人射水福祉会 いみず苑 施設長 稲垣 宏 氏（富山県）

実践報告①「重度障がい者の意思決定支援に向けての第一歩」～選択することから始めよう～

報告者：社会福祉法人恵風会 婦中生活介護事業所つつじ
所長代理 柴田 和代 氏（富山県）

実践報告②「ジャンピングメッセージ」

報告者：株式会社 善 生活介護事業所メープル
施設長 大館 悟使 氏（青森県）

講 義 「個別支援計画と社会参加の評価尺度について」

登壇者：日本知的障害者福祉協会日中活動支援部会 部会長 森下 浩明 氏（神奈川県）

第2分科会

高齢化に伴う活動の変化と居住支援との連携

地域で暮らす障害者の高齢化が進んでいる中、障害福祉サービスだけでなく、医療との連携や介護保険制度の活用など、多様な生活実態に対する支援の構築が望まれています。その中で、日中活動支援事業所では高齢期を迎える方々を取り巻く社会資源や地域連携をどのように進めて行くのか。

また、社会とのつながりである「社会参加活動」や暮らしの支援である「居住支援」との連携についてどのように考えていくのか、社会生活の変化や本人の願いに対して、障害者支援施設や事業所としての実践を通して考える機会とします。

内 容

課題提起 「高齢化に伴う活動の変化と居住支援との連携」

発題者：北海道知的障害者福祉協会 会長
社会福祉法人伊達コスモス21 理事長 大垣 勲男 氏（北海道）

パネルディスカッション

コーディネーター兼進行：日中活動支援部会 四国地区代表委員
社会福祉法人福角会 MORE 施設長 青野 一 氏（愛媛県）

実践報告①「ひかり輝く未来へ ～理想と現実～」

発表者：社会福祉法人ふくい福祉事業団 障害者支援施設 若越ひかりの村
生活支援員 森川 真俊 氏（福井県）
地域・就労支援課 課長 伊藤 和行 氏（福井県）

実践報告②「暮らしの継続、関係の継続 高齢期を迎えたダウン症男性への支援実践」

発表者：社会福祉法人向陵会 第2乙訓ひまわり園
統括主任 兼谷 知記 氏（京都府）

第3分科会

自閉スペクトラム症の人の意思決定と社会参加への支援について

自閉スペクトラム症を伴う重度の知的障害の方々は、コミュニケーションの特性などから、地域社会での「生きづらさ」が大きな課題ですが、差別されることがなく、自己決定が尊重され、社会参加を推進するための支援が求められています。

また、昨年度の報酬改定に伴い、重度障害者支援加算や集中的支援加算など、強度行動障害を伴う利用者の方々に対して手厚い支援体制を整備し、行動障害に対しては環境要因などの背景に目を向け、徹底した予防支援と同時に、自閉スペクトラム症の特性理解に基づいた意思決定と社会参加の支援がより求められます。

本分科会では、実践報告やグループディスカッションにより、新しい取り組みや工夫など、情報交換しながら、支援のヒントを得る機会にします。

内 容

パネルディスカッション

コーディネーター兼進行：日本知的障害者福祉協会日中活動支援部会 副部長
社会福祉法人侑愛会 ワークセンターほくと 施設長 小黒 康廣 氏（北海道）

実践報告① 「意思決定に向けて ～整えよう・やってみよう～」

発表者：社会福祉法人新潟太陽福祉会 はまかぜ
サービス管理責任者 田名部 康介 氏（新潟県）

実践報告② 「ソーシャルワークの視点を取り入れた意思決定と社会参加の支援」

発表者：社会福祉法人侑愛会 ワークセンターほくと
サービス管理責任者 柴田 祐樹 氏（北海道）

グループディスカッション

新潟駅から会場までのアクセス

◆新潟駅近郊マップ



◆新潟駅万代口周辺マップ



◆ホテル外観写真



新潟駅より「万代口」方面へ向かい東大通り方面へお進みください。
新潟駅万代口から「ANAクラウンプラザホテル」まで徒歩約10分です。

